

走行中に異常を感じたり、警告灯が点灯したら、安全な場所でクルマを停止し、指定整備工場または〈オリックスセフティサービス24 0120-24-3650〉までご連絡ください。

- ①走行中に**異音**や**異臭**、**異常な車体の振動**を感じた場合
- ②**走行中(エンジン稼働中)**、メーターパネルに**下記の警告灯が点灯**した場合



ブレーキ警告灯

ブレーキが効かなくなる恐れがあります。



エアバッグ警告灯

エアバッグが作動しないか、誤作動の恐れがあります。



油圧警告灯

エンジンが破損する恐れがあります。



エンジン警告灯

エンジンが破損する恐れがあります。



水温警告灯(赤色)

エンジンが破損する恐れがあります。



ABS警告灯

ABSが作動しない恐れがあります。



充電警告灯

エンジンが停止する恐れがあります。

警告灯の数や内容は、車種により異なります。詳しくは、クルマに搭載されている取扱説明書をご確認ください。

無理に走行し続けることにより、ブレーキやハンドルが操作不能となり、重大な事故に発展する場合があります。

メーターパネルの前にメモやスマートフォンなどを置かないようにしましょう。(警告灯を見落とす原因になります。)

事故防止のために、タイヤの運行前点検をお願いします。

走行状況により、タイヤの状態は日々変化します。異常が見つかった際は、指定整備工場までご連絡ください。

▶ 空気圧が不足していませんか？

タイヤの**空気圧は、自然に低下**します。
↓ (1ヶ月で5%程度低下します)

空気圧が低い状態で走行すると、
タイヤがパンク・バースト※するリスクが高まります。

空気圧の点検方法

①クルマに表示されている、規定の空気圧を確認する。

【表示場所】



運転席ドア
付近に表示
されています。

空気圧表示シール

【表示例】

タイヤ空気圧		
タイヤサイズ	前輪	後輪
185/65R14 91S	230 kPa	220 kPa

ご注意：前後輪で数値が異なる場合があります。

②ガソリンスタンドに設置されている空気入れを使い、
空気圧を確認し、不足している場合は補充する。

▶ キズついていませんか？

タイヤに**キズやヒビ**があったり、**異物が刺さった状態**で走行すると、**タイヤがパンク・バースト※**するリスクが高まります。

キズの点検方法

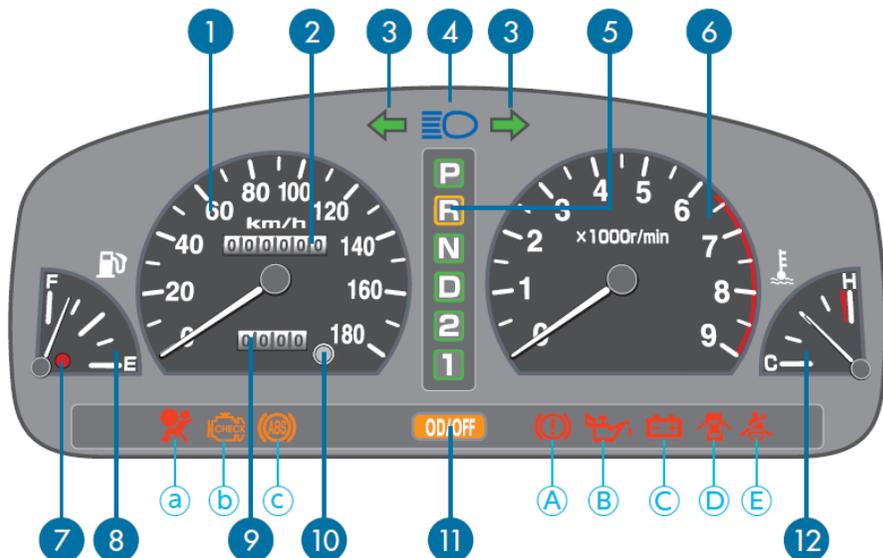
- ①タイヤの**側面**に深い**キズやヒビ**がないか確認する。
一部が膨らんでいないか確認する。
- ②タイヤの**接地面**に**ガラスや釘**などが刺さっていないか確認する。
- ③クルマを**タイヤ半周分移動**させ、再度タイヤの**接地面**を確認する。

キズ等の異常を発見した場合はクルマを使用せず、
すぐに**指定整備工場までご連絡**ください。

※走行中にパンク・バーストすると、ブレーキやハンドルが操作不能となり、重大な事故に発展する場合があります。

メーターパネル(計器)からのシグナル(代表例)

あなたはメーターパネルの計器類やランプ類をいくつ知っていますか？ どれも、きちんとした目的をもっており、特に警告灯は、トラブルを事前に教えてくれる大切な役目をもっています。



オートマチックトランスミッション車の一例

- | | |
|--|--|
| <p>1 スピードメーター
走行速度を表示します。</p> | <p>7 燃料残量警告灯</p> |
| <p>2 オドメーター
総走行距離をkmで表示します。</p> | <p>8 燃料計
燃料の残量を表示します。</p> |
| <p>3 方向指示表示灯(非常点滅表示灯)</p> | <p>9 トリップメーター
区間走行距離をkmで表示します(右端の数字は100m単位)。</p> |
| <p>4 ヘッドランプ上向き表示灯</p> | <p>10 トリップメーターのリセット・ボタン
リセット・ボタンを押すとトリップメーターが0に戻ります。</p> |
| <p>5 シフト・レバー位置表示灯</p> | <p>11 オーバードライブOFF表示灯</p> |
| <p>6 タコメーター
1分間当たりのエンジンの回転数を表示します。</p> | <p>12 水温計
エンジン冷却水の温度を表示します。</p> |

メーターパネルはクルマのコンディションを知る重要な手がかり。すべての警告灯の意味を把握しておきましょう。

エンジンがかかった状態で、次の警告灯が点灯したままになったら整備事業場で点検してもらいましょう。

A ブレーキ警告灯



正常時

ブレーキ装置の状態を表示。エンジンスイッチONで点灯、パーキング・ブレーキを解除すると消灯すれば正常です。

点灯時

パーキング・ブレーキ・レバーを解除しても点灯している時は、ブレーキ液が減少して点灯。ブレーキパッドの摩耗やブレーキ液の漏れが考えられます。早急な点検・整備が必要です。

●ブレーキ液は漏れがないかぜひり急激に減るものではありません。ただし、減っているからといってタンクに足してはいけません。

B 油圧警告灯



正常時

エンジン・オイルの圧力状態を表示。エンジンスイッチONで点灯、エンジン始動後消灯すれば正常です。

点灯時

エンジン・オイルの圧力が低下すると点灯。安全な場所に速やかに停車し、エンジンを止めて整備事業場へ連絡しましょう。

●エンジン・オイルの量を示すものではないので注意しましょう。

C 充電警告灯



正常時

オルタネータ(発電機)からの発電状態を表示。エンジンスイッチONで点灯し、エンジン始動後消灯すれば正常です。

点灯時

オルタネータが発電していない状態を示します。オルタネータ用のVベルトの緩みや切断などの可能性があります。安全な場所に速やかに停車し、エンジンを止めて整備事業場へ連絡しましょう。

●バッテリーの充電量を示すものではなく、バッテリー上がりやバッテリー液の減少時では点灯しません。

次の警告灯が点灯したときは、誤った操作をしていることを警告しています。

A ブレーキ警告灯



パーキングブレーキ・レバー戻し忘れ警告
パーキング・ブレーキがかかっています。

D 半ドア警告灯



ドアが確実に閉まっていません。

E シート・ベルト警告灯



シート・ベルトをしていません。

エンジンがかかった状態で、次の警告灯が点灯したままになったら整備事業場で点検してもらいましょう。

a エアバッグ警告灯



エアバッグ・システムに異常があります。

b エンジン警告灯



エンジン電子制御システムに異常があります。

c ABS 警告灯



ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)に異常があります。